

今週の相場はどうなる？

今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○ 3月 7日～

ウクライナ情勢が悪化しているため週末にかけて株も下落し、ユーロとポンドが大きく下げています。

ユーロは利上げが遠のく可能性があり、ドルや円に対してユーロの弱さが目立ちます。

E C Bの金融政策発表もあり、引き続き、欧州の状況から目が離せません。

今週末は日本の株価指数のメジャーS Qなどもあり、株が大きく動くリスクもあります。

パラリンピックが始まりましたが台湾に対しての中国の動きも懸念されているため中露の動きには警戒がいります。

<ドル／円>

ドル／円は114円台まで下げてきました。

下値は114円台を維持できれば堅調な動きが期待できそうですが114円割れとなれば113.5円あたりがサポートに。

<気になるクロス円>

ユーロとポンドは週足で大きな陰線が出て、中長期的にも下落トレンドに転換した可能性があるため安値更新に注意したいです。

カナダ、豪ドルなどは資源高と地政学リスクの低さから上昇しています。

*クロス円とは円との通貨ペアの総称：○○／円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では1月貿易収支、10－12月期G D P（改定値）などがあります。

米国では1月貿易収支、2月消費者物価指数、前週分新規失業保険申請件数、2月月次財政収支、3月ミシガン大学消費者信頼感指数などが発表されます。

欧州ではユーロ圏で10－12月期G D P（確定値）、E C B政策金利発表、ラガルドE C B総裁会見、ドイツで1月小売売上高、1月鉱工業生産、2月消費者物価指数などがあります。

ほかには、英国で1月G D Pの発表などがあります。